

目標はガソリン1リットルで日本一周



ホンダエコマイレージチャレンジ

技術を重ね歴代記録は3千キロ超

企画解説

「君はガソリン1リットルで日本を1周できるのか」。このようなテーマで自作エコカーの燃費を競う大会がある。ホンダが1981年から開催している「ホンダエコマイレージチャレンジ」だ。第1回に1リットル当たり600キロだった最高記録は、技術の蓄積を重ねて3千キロを超えるまでに延伸。2011年には歴代最高の3644キロを記録した。今年も全国各地で

製作されたエコカーがツインリングもてぎに集結。日本1周(約1万2千キロ)を最終目標に燃費を競い合った。大会は年齢や車種ごとに分類した7部門で構成。ホンダ製4ストローク50ccエンジン(ニューチャレンジクラス)は150cc以下を搭載した自作車でツインリングもてぎのオーバルコースを7周(2人乗りクラス、二輪車クラスは3周)し、燃料の残量から燃費を算出し、順位を決める。

競技では、エンジンの使用時間をどれだけ短くするかが勝敗を分ける重要なポイントになる。素材や設計の工夫で軽量化や空気抵抗を低減する

最高燃費となる2466キロ超を記録し、「最優秀賞」本田宗一郎杯を獲得した。歴代最高記録には及ばなかったものの、2年連続でのクラス優勝を果たした。

大会には八郷隆弘社長やホンダ自動車販売店協会の加藤和夫会長、全国工業高等学校長協会の佐々木哲理事長らも参加。「(今大会を通じて)ものづくりの大変さと面白さ、チーム一丸となって戦う喜びを学んでほしい」(八郷社長)などと激励した。(水鳥 友哉)

富士エコラン・チーム白糸 2年連続でクラス優勝

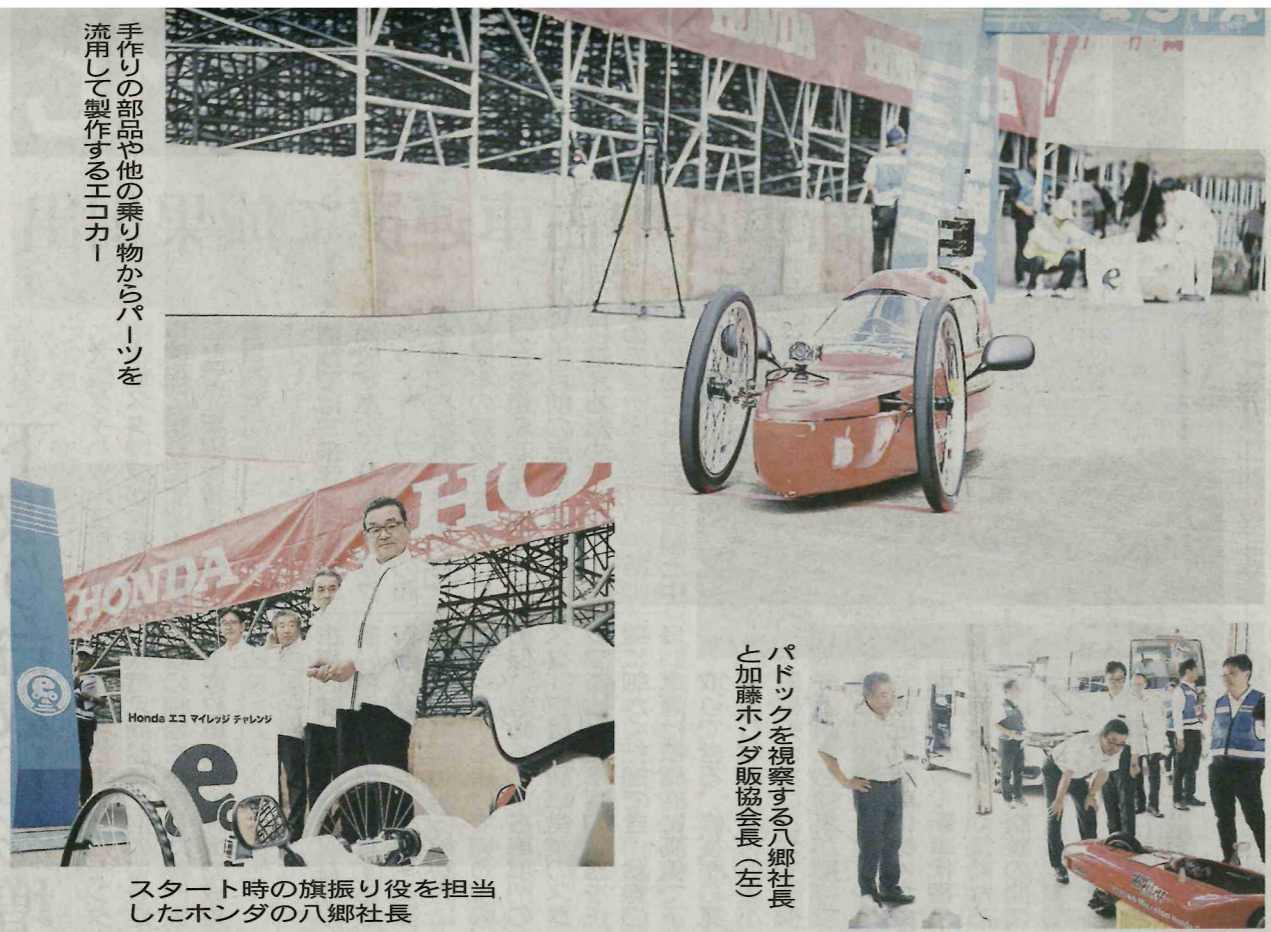
■各部門の優勝チーム一覧

中学生クラス	芝学園技術工作部2号車
高校生クラス	千葉県立下総高等学校自動車部A
大学・短大・高専・専門学校生クラス	長野高専 Reginetta
一般クラス	富士エコラン・チーム白糸
ニューチャレンジクラス	NAYHOITHAMIN
2人乗りクラス	富士エコラン・チーム令和
二輪車クラス	YTC 散るんじゃねえぞ!!

出場チームの中核となる工業高校を代表して参加した全国工業高等学校長協会の佐々木哲理事長

文長協 芝木 田

Honda自動車



パドックを視察する八郷社長と加藤ホンダ販協会長(左)

スタート時の旗振り役を担当したホンダの八郷社長

手作りの部品や他の乗り物からパーツを流用して製作するエコカー



リゾートで運行 AR自動運転車

ヤマハ発動機は、ソニーと共同開発したエンターテインメント用車両「SC11」で写真IIを使用したサービスが11月1日に開始すると発表した。第一弾は、車両周辺の状況に応じた拡張現実映像を室内や車体側面に設置された高精細ディスプレイで楽しめるエンターテインメントサービスを沖縄県のリゾート施設などで実施する。両社は今後、サービスの内容や対象施設を拡充する考え。

SC11は、4K液晶モニターを車内に1台、車外に4台設置するとともに、フルサイズCMOSセンサーやLiDAR、超音波センサーを搭載した低速自動運転車両。車内のモニターには、周辺の映像を高精細に表示するだけでなく、拡張現実(AR)でエンターテインメント映像を映し出す。

11月に開始するサービスの名称は「ムーンライトクルーズ」。名護市の「カヌチャベイリゾート」と沖縄市の「東南植物楽園」で実施する。

ヤマハ発動機